

最高最良の存在は、「こだま」してくれます。

寂しさをなくしてくれない代わりに、寂しいことでなくしてくれるのです。

金子みすず記念館館長
矢崎 節夫 さん

子どもが転んで痛いと言うと、「痛くないよ」と励まします。痛さは無くなっても寂しさが残ります。それよりも「痛かったね」とこだましてもらえることが、痛さを乗り越える気持ちを育むことができるのではないのでしょうか。

一方的に励ますことより、つらいね、うれしいね、かなしいねと、うなづき寄り添う気持ちが相手を支えることになるのでしょうね。

由仁町 本覚寺 高橋宗瑛